

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

(1 OS 1 / S 1 A (TCF6321E/AM/AF/AC/AD/AE/AK) ・  
1 OS 2 / S 2 A (TCF6331E/AM/AF/AC/AD/AE/AK)用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。  
この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)  
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

### 2. 連立トイレの配置例

正規品	(タイプ1)	(タイプ2)	正規品	(タイプ1)	(タイプ2)
(タイプ3)	(タイプ4)	(タイプ5)	(タイプ3)	(タイプ4)	(タイプ5)

### 3. 連立トイレ対応方法

＜＜本体側の設定方法＞＞

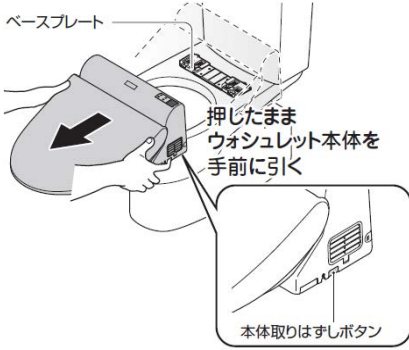
※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

**リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)**

---

**作業の前に…**

特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。



---

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1 本体操作部の **運転** を10秒以上押し続ける

10秒後に全てのランプが**5秒間点灯**します。

**本体表示部**

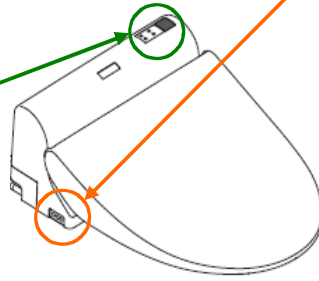
■ 運転 ■ 便座 ■ 温水 ■ 節電 緑色点灯	■ 運転 ■ 便座 ■ 温水 ■ 節電 温水・便座 → 緑色点灯 運転・節電 → 橙点灯	□ 運転 □ 便座 □ 温水 □ 節電 ランプが全点灯から点灯 または点滅になったら、最初からやり直してください。
--------------------------------	--	--

この間**5秒**

**本体操作部**

運転 ビデ おしり  
入/入/入/切 入/切

手順3まで押したまま



---

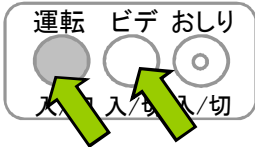
2 運転 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)

すると、**すぐに** ビデ を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

**本体操作部**

運転 ビデ おしり  
入/入/入/切 入/切



---

3 ※失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

運転 を押したまま、おしり を押す。

おしり を押すたびに標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

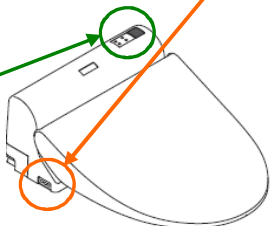
**本体表示部**

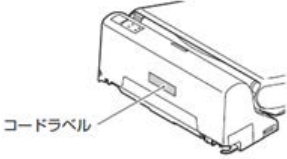
●…点灯 ×…消灯

	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●

**本体操作部**

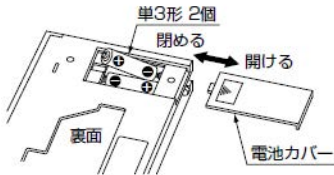
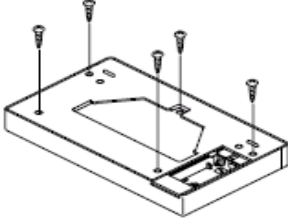
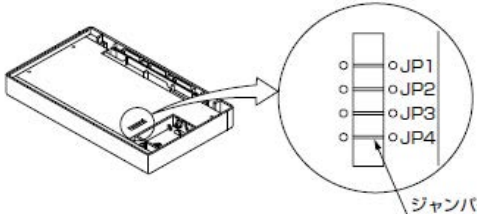
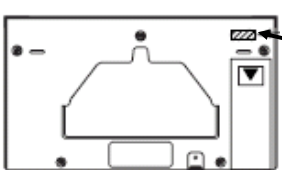
運転 ビデ おしり  
入/入/入/切 入/切



手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)	
4	<p>● <b>運転</b> から手を離れた時点で設定したコードになります。</p> <div data-bbox="231 206 767 286" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。</p></div>	
5	 <p>コードラベル</p>	<p>ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

## &lt;&lt;リモコン側の設定方法&gt;&gt;

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、リモコン本体のランプが消えることを確認する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																																							
2	 <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="209 1137 999 1339"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	 <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)